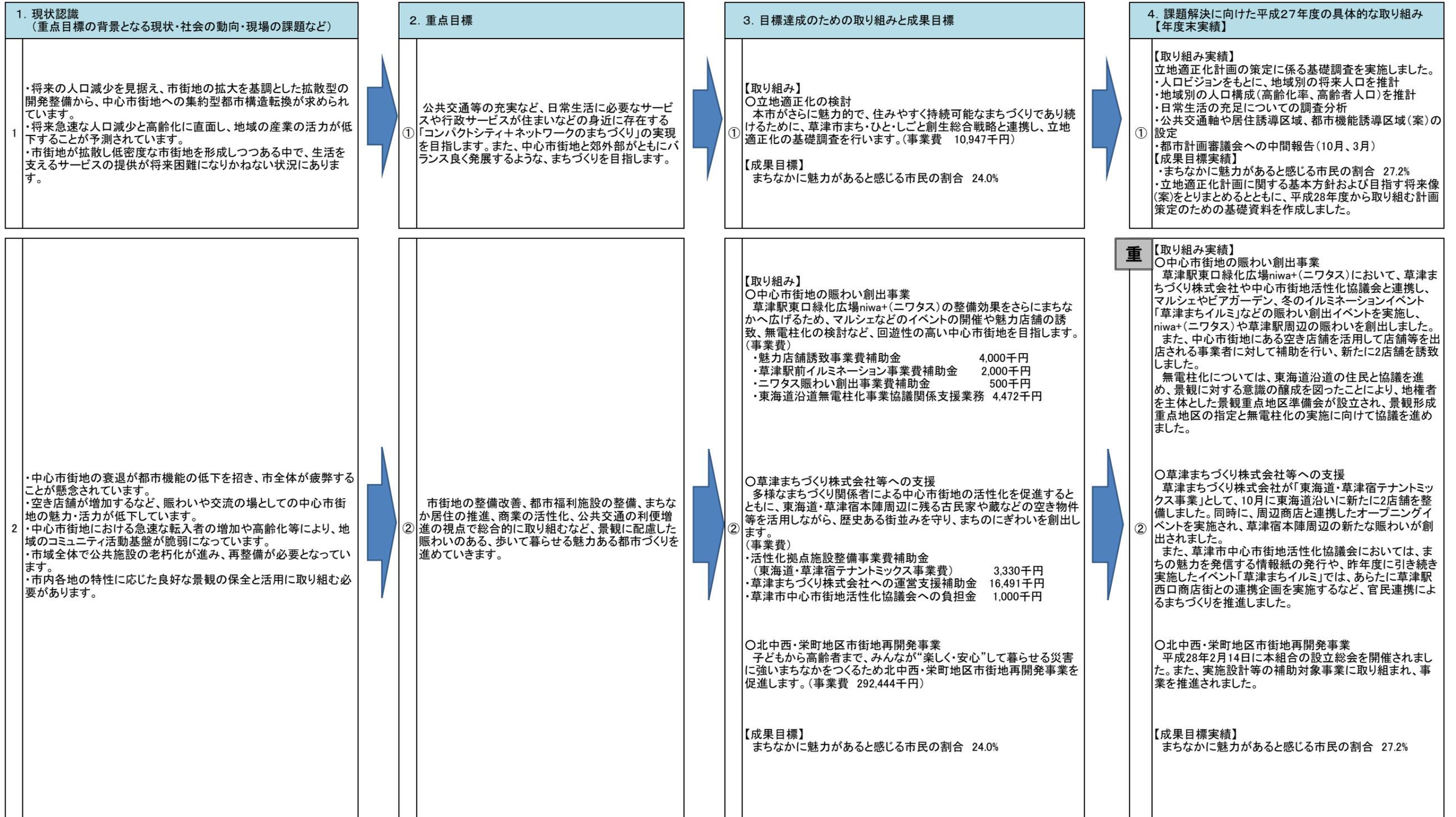


《平成27年度 都市計画部 組織目標の達成状況》

◆目標管理者

部長	澤田 圭弘
理事	川崎 周太郎
理事	田邊 好彦

重 ……平成27年度予算重点施策に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた平成27年度の具体的な取り組み」欄に左の記号を記載しています。



1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかの貴重な都市空間である草津川跡地の有効活用が求められています。 ・平成26年度に優先整備区間である区間②(メロン街道～浜街道)および区間⑤(JR琵琶湖線～国道1号付近)について、造成工事を進めてきています。

2. 重点目標	
③	<p>区間②については、「まち・ひと・しごと」草津市版総合戦略との連携を図りながら、跡地利用について検討すすめ、区間⑤については、より多くのにぎわいとつるおいが創出できるよう検討をすすめながら、平成28年度末の完成を目指して、工事を進めていきます。</p>

3. 目標達成のための取り組みと成果目標	
③	<p>【取り組み】 ○草津川跡地整備 区間②と区間⑤を整備します。また、区間⑤における商業施設等の整備に向けた計画策定に、草津まちづくり株式会社と共に取り組みます。 (事業費) ・工事費・委託費等 2,864,752千円 ・工事費 673,172千円 (※平成26年度予算予算明許繰越) ・商業施設整備支援費補助金 9,360千円</p> <p>【成果目標】 整備進捗率 30.0%</p>

4. 課題解決に向けた平成27年度の具体的な取り組み【年度末実績】	
③	<p>重</p> <p>【取り組み実績】 ○優先整備区間である区間2および区間5の整備工事を平成26年度に引き続き行いました。</p> <p>【成果目標実績】 整備進捗率 22.0%</p>

4	<ul style="list-style-type: none"> ・南草津駅と立命館大学周辺エリアでは、路線バスの輸送力を超える交通需要があり、新たな交通システムの導入も視野に入れた交通ネットワークの構築が必要となっています。 ・本格運行に移行した「まめバス」について、将来における持続可能な姿を構築する必要があります。 ・平成25年10月に栗東市のくりちゃんバスや民間バスとのジョイント運行を実施しているものの、伸び悩んでいる利用者数の増加に向け、新たな利用促進策の展開が必要となっています。 ・市内における交通事故総数に占める自転車事故の割合や自転車盗難の発生件数が高い水準で推移し、自転車利用者のルール遵守やマナーの向上、自転車の利用環境の整備が求められています。
---	---

④	<p>南草津駅と立命館大学周辺エリアに新たな交通システムとして、連節バスの導入を目指すとともに、まめバスの利用者数向上に向けた取り組みの強化を図ります。また、「草津市自転車の安全で安心な利用の促進に関する条例」の施策を具現化していくため、市民に対する普及啓発活動に力を入れていきます。</p>
---	--

④	<p>【取り組み】 ○草津市の交通ネットワークの形成 地域や店舗、バス事業者等と連携しながら、まめバスを含む公共交通の利用促進策を検討し、交通ネットワークの形成の具現化に向けた取り組みを進めます。また、連節バスの平日での試走実験を行うなど、連節バス導入に向けた支援を行います。 (事業費) ・都市交通調査費 2,500千円 ・まめバス運行補助金 39,430千円</p> <p>○自転車を生かしたまちづくりの推進 自転車の安全で安心な利用に向けた対応策の実行計画となる自転車安全安心利用促進計画の策定等を行います。また自転車安全安心利用教室の開催や自転車安全安心指導員による交差点等での指導・啓発を行います。 (事業費) 自転車安全安心利用推進費 11,023千円</p> <p>【成果目標】 公共交通機関の便がよいと感じる市民の割合 40.0%</p>
---	---

④	<p>【取り組み実績】 ・まめバス路線沿線にある店舗(マックスバリュ駒井沢店)と業務提携をし、まめバス利用者への買い物サービスを開始しました。(平成28年4月1日スタート) ・連節バスの平日での試走実験、車両購入補助、愛称募集、駅前広場等の道路整備工事、発車記念式典等を行い、連節バス2台の導入をしました。</p> <p>・自転車安全安心利用促進計画を策定しました。また、自転車安全安心利用教室の開催や、自転車安全安心利用指導員による駅周辺や通学途上での街頭指導、啓発を行いました。</p> <p>【成果目標実績】 公共交通機関の便がよいと感じる市民の割合 41.1%</p>
---	--